

第 14 回 全国施設管理者等研修会

【 開催要項 】

「我々に今、求められている組織体制とは？」

～ 願う組織体制とその組織作りについて ～

1. 目 的：

障害児支援を取り巻く社会環境が急速に変化する中、各施設・事業所が本来果たすべき役割を改めて見つめ直し、持続可能かつ実効性のある組織体制を構築することが、今まさに求められています。少子化や人口減少に伴う人材不足・人材定着の困難、ICT の活用による業務効率化と支援の質の向上、さらには地域社会における課題の複雑化・多様化など、管理者が主体的に取り組むべき課題は多岐にわたります。

本研修では、障害児支援にとどまらず、こども施策全体の方向性や制度的変化との関係性も踏まえ、国の施策、学術的知見、現場における実践事例を鑑みながら、組織体制のあり方について多角的に学ぶ機会を提供いたします。ご参加いただいている施設管理者の皆様には、それぞれの施設・事業所規模や地域の特性を踏まえ、広い視野と柔軟な発想をもって、今後の組織の在り方と具体的な構築方法を模索し、より良い支援体制の実現を目指していただくことを目的としております。

2. 主 催：一般社団法人 全国児童発達支援協議会

3. 後 援：こども家庭庁（予定）

4. 日 時：2026年2月21日（土）12：30～17：40（開場11：45） 2月22日（日） 9：15～12：50（開場 9：00）

5. 会 場：はまぎんヴィアマーレホール（神奈川県横浜市）

<https://yokohama-viamare.or.jp/viamare.html>

ヴィアマーレホール事務室 〒220-8611 横浜市西区みなとみらい3丁目1番1号

TEL：045-225-2173 FAX：045-225-2183

6. 対 象：児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障害児相談支援 その他、児童の発達支援に携わる施設・事業所の管理者等

7. 開催方法：当日対面参加 ならびに 録画の後日配信（3月中の配信を予定しております）

8. 定 員：現地参加 ※ 250名様 後日配信（1日目のみ） ※ 定員はありません（3月中配信予定）

9. 参 加 費：現地参加・後日配信希望も一律

○ 加盟施設／事業所 お一人につき 10,000円

○ 非加盟施設／事業所 お一人につき 25,000円

10. 申込方法：別途ホームページ等でご案内させていただきます。

<http://www.cdsjapan.jp>

【 1日目 】 2月21日（土）プログラム

時間	内容
12:30	開会式
12:50	〔行政説明〕 こども家庭庁 支援局 障害児支援課 課長 今泉 愛 氏
13:50	休憩
14:00	〔基調講演〕 東京大学 先端科学技術研究センター 准教授・小児科医 熊谷 晋一郎 氏
15:30	休憩
15:40	〔それぞれの実践！〕 コーディネーター：社会福祉法人ひかりの園 浜松市根洗学園 園長 松本 知子 氏 株式会社UNIQUE R 代表取締役 熊本 哲也 氏 ・実践事例1：社会福祉法人からしだね うめだ・あけぼの学園 園長 酒井 康年 氏 ・実践事例2：認定NPO法人発達わんぱく会 理事長 小田 知宏 氏 ・実践事例3：社会福祉法人愛徳福社会 大阪発達総合療育センターあさしお園 園長 西野 紀子 氏 ・実践事例4：特定非営利活動法人銀河 理事長 菊池 健弥 氏
17:40	1日目終了
18:30	情報交換会

【 2日目 】 2月22日（日）プログラム

時間	内容
9:00	会場・受付開始
9:15	〔CDS-Jが願う組織とは？〕 一般社団法人全国児童発達支援協議会 会長
10:15	休憩
10:25	〔会場全員でディスカッション！〕 アドバイザー：こども家庭庁 支援局 障害児支援課 課長補佐 鈴木 久也 氏 司会進行：社会福祉法人宗友福社会 事務局長 池田 圭一郎 氏 社会福祉法人長野市社会事業協会 児童発達支援センターにじいろキッズらいふ 所長 丸山 志野 氏 ・理想とする組織体制及び組織体制づくりを参加者全員で語り合おう！ ・みんなの声を集めよう！聞こう！たくさん持ち帰ろう！
12:20	CDS-J 報告
12:40	閉会
12:50	研修会全終了